

野田市の学校給食に関する一考察：北部小学校を例にとって

金田 正明*

1 はじめに

日本の学校給食の始まりは1889年（明治22年）、貧困が原因で弁当を持参できない児童に対して山形県の私立中愛小学校で行われたものが最初であるとされる。その後、各地に学校給食は広がっていった。1932年（昭和7年）からは国の補助が始まる。

第二次世界大戦中は食糧不足により多くの学校で給食は休止されたが、1946年（昭和21年）の「学校給食実施の普及奨励について」（文部省、厚生省、農林省による次官通達）に基づき翌年の1月に再開される。⁽¹⁾

1954年6月（昭和29年）には「学校給食法」が制定され、学校給食の定義、国や地方公共団体、及び小学校等の設置者の任務等が明確化された。また、設置者に対する給食施設や給食運営費の負担、国の補助に関しても明文化された。⁽²⁾

125年の歴史を持つ学校給食は、現在、地産地消の学校給食への取り組み、食育の推進、アレルギー体質を持った生徒に対する対応、給食費未納の問題など、いくつもの課題を抱えている。本研究は、野田市立北部小学校（以後、北部小学校）を例にとり、野田市の学校給食の歴史、給食費の推移、そして5年生3クラス、6年生3クラスの児童への「学校給食に関するアンケート調査」の結果を基に、児童の学校給食に対する考えを明らかにすることである。

2 野田市の誕生と学校給食の歴史

野田市は1950年5月3日、当時の野田町、旭村、

梅郷村、七福村の1町3村が合併して誕生した。これは千葉県の「町村合併勧告」を受けて行われたものである。この結果、旧野田町が「中央」、旧旭村「東部」、旧梅郷村「南部」、旧七福村「北部」と4地区に行政地区の名称が変更された。この行政地区の名称変更の結果、小・中学校の名称も旧町村立から、これらの4地区の名前（例：中央小学校、中央中学校）に改名された。⁽³⁾

現在、野田市管轄の20の小学校、11の中学校、3つの幼稚園のうち、野田幼稚園を除く33の施設で完全給食を実施している。

表1は、野田市の学校給食の歴史をまとめたものである。

これによると、1900年（明治33年）創立の福田第二小学校で味噌汁を給食時に配ることが、学校給食実施の普及奨励に関する通達が出た2年後の1948年に始まった。1950年には南部小学校（明治6年創立）で具体的な品目は不明であるが、給食時に補食の提供が開始された。南部小学校の沿革には、縦3間、横2間の給食炊事場がこの年に新築されたと記されている。⁽⁴⁾この時期、生徒は自宅から弁当を持参し、学校では味噌汁や何らかの補助食の提供のみ行われていたと思われる。

今のように完全給食が野田市で実施されたのは、1954年の学校給食法の制定から5年経った1959年、南部小学校からである。この年、木造2階建229坪の校舎改築工事が完成したと記されており、この校舎改築に伴って完全給食が実施できる給食施設が整えられたのではないと思われる。⁽⁵⁾

1965年には、東部小学校と東部中学校が完全給食を開始する。その後、北部小学校、福田第一小学校、そして福田第二小学校が1966年、川間小学校と川間中学校が1970年に完全給食を開始する。これらは、全て自校方式で行われている。1976年には米飯の導入が始まった。

2014年11月30日受付

* 江戸川大学 経営社会学科教授 食糧経済学、穀物貿易

表1 野田市の学校給食の歴史

西暦	学校名	出来事
1948	福田第二小学校	味噌汁給食開始
1950	南部小学校	補食給食開始
1959	南部小学校 中学校	完全給食開始 ミルク給食開始
1965	東部小学校 東部中学校	完全給食開始
1966	北部小学校 福田第一小学校 福田第二小学校	完全給食開始
1967	関宿給食センター竣工	
	木間ヶ瀬小学校	完全給食開始
	二川小学校	
	関宿小学校	
	木間ヶ瀬中学校	
	二川中学校	
1970	川間小学校	完全給食開始
	川間中学校	
1971	福田中学校	完全給食開始
1972	(野田市) 給食センター竣工	
	中央小学校	完全給食開始
	宮崎小学校	
	第一中学校	
	第二中学校	
	南部中学校	
	北部中学校	
1974	清水台小学校	完全給食開始
1975	関宿南部幼稚園	完全給食開始
1976	米飯給食の導入	
1977	柳沢小学校	完全給食開始
	関宿中部幼稚園	
1980	山崎小学校	完全給食開始
	岩木小学校	
1983	関宿中央小学校	完全給食開始
1984	尾崎小学校	完全給食開始
1985	七光台小学校	完全給食開始
1986	二ッ塚小学校	完全給食開始
1987	新関宿給食センター竣工	
	岩木中学校	完全給食開始
2003	みずき小学校	完全給食開始

出典：野田市教育委員会学校教育課学校教育課の配布資料より作成

一方、関宿町（現在の野田市関宿、2003年野田市と合併）では、1967年の関宿学校給食センターの竣工に伴い、センター方式による完全給食が小学校3校、中学校3校を対象に開始された。1975年に関宿南部幼稚園、1977年に関宿中央幼稚園、1983年に関宿中央小学校も完全給食が実施された。旧関宿町では、全ての学校の完全給食がセンター方式で現在も行われているのが特徴で

ある。

野田市でセンター方式による完全給食が導入されたのは1972年からであり、中央小学校、宮崎小学校、第一中学校、第二中学校が対象となった。その後、清水台小学校（1974年）、柳沢小学校（1977年）もセンター方式での完全給食が始まっている。⁽⁶⁾ その後も児童数増加への対応の為、野田市では小学校の新設が繰り返され、それらの小学校でも完全給食が実施されている。

3 野田市の学校給食調理業務の形態

表2は、2014年4月現在の野田市の学校給食調理業務の形態をまとめたものである。

野田市では、野田市宮崎にある「野田市学校給

表2 野田市の学校給食調理業務の形態

調理方式		学校名
自校方式		東部小学校
		南部小学校
		北部小学校
		川間小学校
		福田第一小学校
		福田第二小学校
		山崎小学校
		岩木小学校
		尾崎小学校
		七光台小学校
		二ッ塚小学校
		みずき小学校
		東部中学校
		南部中学校
		北部中学校
		福田中学校
		川間中学校
		岩名中学校
給食センター方式	学校給食センター	中央小学校
		宮崎小学校
		清水台小学校
		柳沢小学校
		第一中学校
		第二中学校
	関宿学校給食センター	関宿南部幼稚園
		関宿中央幼稚園
		木間ヶ瀬小学校
		二川小学校
		関宿小学校
		関宿中央小学校
		木間ヶ瀬中学校
		二川中学校
		関宿中学校

出典：野田市教育要覧より作成

食センター（野田業務サービス株式会社：第3セクター）」が小学校4校と中学校2校を、野田市柏寺（旧関宿町）にある「野田市関宿学校給食センター（株式会社 東洋食品に委託）」が幼稚園2園、小学校4校、中学校3校を、それぞれセンター方式により給食を提供している。

学校の敷地内で調理して配膳する「自校方式」を取り入れている学校は、小学校が12校、中学校が6校となっている。センター方式、自校方式とも、学校調理業務を外部委託している。2014年度から、週5回の給食のうち、米飯給食が3.5回、パン・麺給食が1.5回となっている。⁽⁷⁾ また、2010年度より野田市では農業振興も兼ね、学校給食に野田産のブランド米（例：2012年度は玄米黒酢米2,153俵と江川産米200俵を農協から購入）を使用し、購入費用の一部を補助している。⁽⁸⁾

学校給食用米購入への市からの補助は2000年から行われており、2014年度の幼稚園、小・中学校全て含めた市からの補助金額は、2,192万円である。⁽⁹⁾

自校方式を取り入れている学校では、その学校を代表するメニュー（例えば、北部小学校の「北小カレー」）をいくつか持っているところもある。



写真1 野田市立北部小学校の「北小カレー」

出典：北部小学校のHPより引用

4 北部小学校の沿革と児童数の推移

北部小学校の歴史は、1873年（明治6年）6

月に第25番中学区内第58・9番聯区第13大区2小区に吉春小学校、岩名村に岩名小学校が創立されたことに始まる。1889年（明治22年）6月に村町制実施により、両小学校が統合され七福尋常小学校となった。翌年の12月には地大字谷津に新校舎が建設されて、その開校式が行われている。1924年（大正13年）4月には高等科を加えて七福尋常高等小学校となり、七福村立七福国民学校（1941年）、七福村立七福小学校（1947年）と改称を繰り返し、上記のように市制への移行により、1950年に野田市立北部小学校と改称された。1974年3月に現在の鉄筋3階建ての新校舎が完成している。⁽¹⁰⁾

表3は1972年からの北部小学校、近隣の柳沢、岩木、七光台小学校、そして野田市の全小学校児童数の推移を示したものである。また、図1と図2は表3に基づき作成したものである。

北部小学校の児童数は、1975年に835人、翌年には869人と34人（約4%）増えた。1977年4月の柳沢小学校（分離新設校）開校に伴い、北部小学校に通っていた児童の一部が柳沢小学校へ移動した結果、北部小学校の児童数は778人となり、前年度比で約10%減となった。しかしながら、野田市の児童数増加により1978年には832人（前年比約7%増）、1979年には1,112人（前年比約34%増）と1975年以降現在までの最大の児童数になる。

1974年の新校舎完成で給食施設も新設されているものの、自校方式での調理で一年間に280人にも及ぶ児童数の増加にどのように対応したかに関しては、現段階では調査中である（給食センターや近隣の自校方式の学校から北部小学校で調理しきれない不足分の給食を調達したかは不明である）。

翌年の1980年には、1,000人を超えた児童数が521人と前年比約53%も減少する。これは近隣に岩木小学校が創設され、北部小学校の児童が移動したためである（表3参照）。その後1984年まで、北部小学校の児童数はほぼ横ばいの520～540人で推移するが、1985年には七光台小学校が分離新設校として創設されて、児童数が187人と前

表3 野田市の小学校児童数の推移

年度	北部 小学校	柳沢 小学校	岩木 小学校	七光台 小学校	全小学校 合計
1972	NA				6,856
1973	NA				6,780
1974	NA				7,163
1975	835				7,680
1976	869				8,170
1977	778	501			8,485
1978	832	511			9,162
1979	1,112	553			10,112
1980	521	544	1,443		10,842
1981	534	491	1,788		11,325
1982	525	463	2,046		11,414
1983	544	452	2,164		11,615
1984	519	415	1,817		11,620
1985	187	408	1,563	741	11,353
1986	164	406	1,457	669	10,748
1987	145	392	1,389	618	10,188
1988	136	379	1,339	573	9,878
1989	124	372	1,262	541	9,630
1990	117	397	1,099	536	9,346
1991	117	389	988	476	9,033
1992	119	346	914	510	8,749
1993	120	352	838	484	8,391
1994	109	378	736	490	8,143
1995	100	368	668	470	7,766
1996	91	333	647	458	7,452
1997	77	347	605	454	7,184
1998	65	346	576	420	6,916
1999	64	345	667	439	6,802
2000	52	332	560	454	6,662
2001	49	344	570	440	6,600
2002	43	331	682	465	6,584
2003	53	327	603	478	8,471
2004	63	310	612	479	8,425
2005	107	322	635	499	8,449
2006	158	328	644	500	8,434
2007	219	305	648	510	8,370
2008	288	296	655	530	8,490
2009	341	284	679	504	8,389
2010	414	280	660	516	8,355
2011	450	269	682	494	8,375
2012	489	272	702	510	8,369
2013	540	287	727	502	8,475
2014	543	276	746	471	8,407

注：NA データなし

出典：野田市教育要覧より作成

年比で約 64% も減少する。

野田市全体の小学校児童数を見ると 1984 年の 11,620 人がピークで、これ以後小学校の児童数は減少期に入り、それは 2002 年の 6,584 人まで続く。

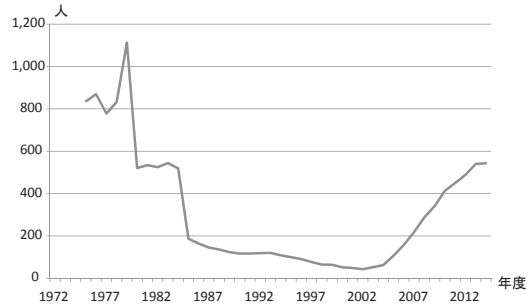


図1 北部小学校の児童数の推移

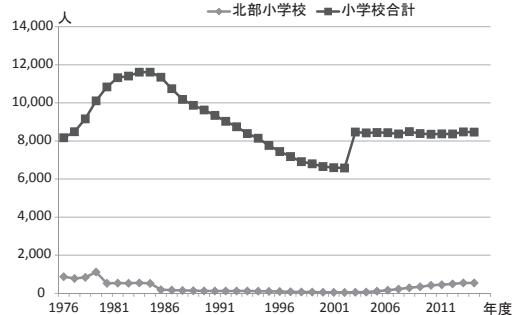


図2 野田市の小学校児童数の推移

2003 年の増加（児童数は 8,471 人）は、野田市と関宿町の合併に伴うものである。

北部小学校でも 1985 年以後も児童数の減少は続き、2002 年には全学年で 43 人となる。この年の児童数は 1979 年の 1,112 人と比較して 4% にも満たない。

2014 年 11 月現在、北部小学校の児童数は 543 人で、運動場脇に音楽室、理科室、学童保育所などが入るプレハブ校舎が建てられている。43 人（2002 年）からわずか 10 年あまりで 543 人に児童数が急増した理由は、七光台駅西区土地整理区画事業などで供給された土地に民間企業の大規模宅地開発が行われたことが影響している。大規模宅地開発に伴う児童数の急激な増加に保育園や小学校などが対応しきれない例は、野田市に限定された問題ではない。民間企業と行政とが連携した「中・長期的な観点に立った計画的な街づくり」が遅れている結果が、この歪を生み出していると思われる。

現在、北部小学校の給食室では全児童の給食を調理することが出来ず、七光台小学校から 3 年生

85人+教諭分の給食が届けられている。その為、両校の栄養教諭、学校栄養職員が話し合って2校は同じ献立にしている。⁽¹¹⁾

限定されたキャパシティー（校舎での教育や施設での給食調理、トイレ数の問題等）⁽¹²⁾の中で、このような児童数の変化に対応しなければならない義務教育において、現場の教諭や調理師の方々の御苦労、市の学校教育部を中心とした行政の対応の難しさが垣間見られる。

5 給食費の推移

表4は1972年以後の野田市の学校給食費の推移を示したものである。

この表によると、2014年4月まで8回の改定が行われている。1970年代前半は、1972年の田中角栄元首相の日本列島改造論、及びアメリカによる日本に対する穀物（大豆や油用種子）の輸出禁止に起因するインフレーションに加えて、1973年の第一次オイルショック、金融緩和、需給ギャップなどが加わった結果、「狂乱物価」と言われた物価の上昇が起こった。

野田市の給食費は1972年10月の改定後、わずか7か月後（1973年5月）に名目で200円（16.67%）の値上げが行われ、その11か月後（1974年11月）には600円（42.86%）もの値上げが行われた。上記期間の学校給食費の値上げは、この物価上昇に対応した結果であると推測される。1974年以後も1976年4月、1978年11月、1981年

表4 野田市の給食費の推移（小学校）

改定年月日	月額		値上げ率(%)	
	名目	実質	名目	実質
1972年10月01日	1,200	3,261	—	—
1973年05月01日	1,400	3,365	16.67	3.19
1974年04月01日	2,000	3,766	42.86	11.92
1976年04月01日	2,400	3,664	20.00	-2.71
1978年11月01日	2,800	3,873	16.67	5.70
1981年07月01日	3,200	3,883	14.29	0.26
1985年09月01日	3,400	3,795	6.25	-2.27
1992年04月01日	3,900	3,884	14.71	2.35
2014年04月01日	4,100	NA	5.13	NA
2015年04月01日	4,240	NA	3.41	NA

注1：実質給食費は2005年のCPIを100として計算した。

注2：NA = 入手不可

注3：2015年4月1日の改定が保護者に連絡されている。

出典：野田市教育委員会学校教育部学校教育課の配布資料より作成

7月と、それぞれ24か月、31か月、32か月後に改定（値上げ）を繰り返している。

表5と図3は、改定年だけでなく各年の給食費の推移を名目と実質（CPI：食料 2005年 = 100

表5 野田市の給食費の推移（小学校）

年度	月額（円）		値上げ率（%）	
	名目	実質	名目	実質
1972	1,200	3,261	—	—
1973	1,400	3,365	16.67	3.19
1974	2,000	3,766	42.86	11.92
1975	2,000	3,333	0	-11.50
1976	2,400	3,664	20.00	-2.72
1977	2,400	3,433	0	-6.29
1978	2,800	3,873	16.67	5.69
1979	2,800	3,794	0	-2.03
1980	2,800	3,576	0	-5.75
1981	3,200	3,883	14.29	0.28
1982	3,200	3,814	0	0.53
1983	3,200	3,738	0	-1.99
1984	3,200	3,636	0	-2.73
1985	3,400	3,795	6.25	-2.29
1986	3,400	3,790	0	-0.11
1987	3,400	3,825	0	0.90
1988	3,400	3,795	0	-0.78
1989	3,400	3,716	0	-2.08
1990	3,400	3,571	0	-3.89
1991	3,400	3,407	0	-4.61
1992	3,900	3,884	11.71	2.37
1993	3,900	3,846	0	-0.99
1994	3,900	3,812	0	-0.88
1995	3,900	3,861	0	1.29
1996	3,900	3,865	0	0.10
1997	3,900	3,797	0	-1.75
1998	3,900	3,743	0	-1.44
1999	3,900	3,764	0	0.58
2000	3,900	3,839	0	1.97
2001	3,900	3,861	0	0.59
2002	3,900	3,892	0	0.80
2003	3,900	3,900	0	0.20
2004	3,900	3,865	0	-0.89
2005	3,900	3,900	0	0.90
2006	3,900	3,881	0	-0.50
2007	3,900	3,869	0	-0.30
2008	3,900	3,772	0	-2.51
2009	3,900	3,764	0	-0.19
2010	3,900	3,775	0	0.29
2011	3,900	3,790	0	0.39
2012	3,900	3,786	0	-0.10
2013	3,900	3,790	0	0.10
2014	4,100	NA	5.13	NA
2015	4,240	NA	3.41	NA

注1：実質給食費は2005年のCPIを100として計算した。

注2：NA = 入手不可

注3：2015年4月1日の改定が保護者に連絡されている。

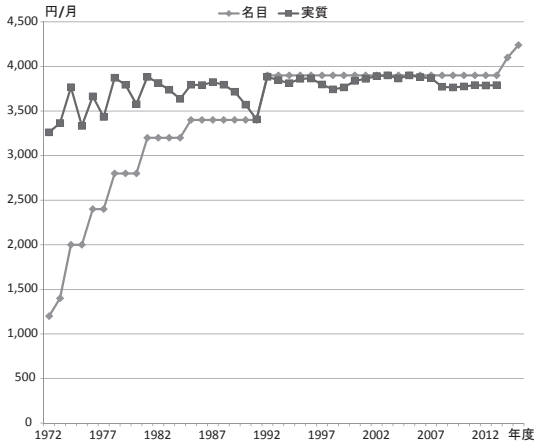


図3 野田市の給食費の推移（小学校：月額）

で調整）で表したものである。（野田市の給食費の改定は、正確には「年度ごと」に行われたのではないが、便宜上、表ではそのように表記した）

これによると、野田市の場合、1972年から1991年まで、名目の給食費は実質の給食費より低く推移しており、この間の賄材料費の上昇が読み取れる。この期間、賄材料の価格上昇に対応するため、上記のようにある程度のタイムラグを伴って野田市は6回の給食費の改定（値上げ）を行ったと言える。1990年代に入ると比較的物価が安定してきて、名目と実質の給食費の差が無くなってくる。例えば、1991年には名目3,400円、実質3,407円とほぼ同額になった。1992年に1985年の改定以後7年ぶりに月額500円の値上げを行った後、2014年の改定までの各年の名目と実質の月額給食費の推移を見てみると、ほぼ同額であることが分かる（約3,800円～3,900円デフレーションの期間は実質の給食費が3,800円を下回る年もある）。

1972年から2013年までの年ごとの実質月額給食は約3,300円から3,900円で推移しており、特に上記のように1992年以後はほぼ同額となっている。1992年以後は、食料の物価は比較的稳定していたことが分かる。この間、給食費の改定は行われていない。つまり、野田市は必要な賄材料の量と質を確保するため、物価の変動に対して給食費を改定してきたことが読み取れる。2000年

から行われている市の学校給食用米購入へ補助（年2,192万円、小学生の場合、1食当たり約6.79円）も、給食費（賄材料費）値上げの抑制にある程度寄与していたと思われる。

1989年4月の消費税3%導入時、野田市では学校給食の改定は行われていない。また、1997年4月に消費税率が5%へ引き上げられた時も給食費の改定は行われていない。これらの年は、食料品の消費者物価がそれぞれ前年比で-2.08、-1.75とマイナスであり、消費増税分を食材費の価格下落で相殺できたのではと思われる。しかし、2014年4月の給食費改定（月額300円の値上げ）では、過去2回の消費税率改定時とは異なり、同月に行われた5から8%への消費税引き上げに対応したものである。300円の値上げのうち、3%増税分の金額は約102円であるが、残りの198円は、賄費用（食材費）、特に小学校高学年の児童と中学校の生徒へのカルシウムと鉄分を充当するために使われている。これは2013年1月30日に告示され、4月1日から施行された「学校給食実施基準の一部改定について」に基づき行われたものである。この改定では、「日本型食生活の実践」や「伝統的な食文化の継承」に配慮してのメニュー作りも謳われている。198円の給食費の値上げは、名目で5%に留まる。

さらに、22年ぶりに2014年4月1日に行われた給食費の改定（300円の値上げ）から、わずか1年後の2015年4月1日に140円（名目で3.41%）の値上げ（改定）が行われるとする手紙が12月15日付で保護者へ届いている。小学校の場合、税込月額4,358円から野田市からの米購入費への補助金、月額125円を引いた4,233円が月額給食費になるが、10円以下は切り上げられて4,240円にするという。改定後の給食に関して手紙では、副食代の確保の為にとしている。副食代とは、一人一食当たりの食材費から「米の補助、米飯、パン、麺、牛乳」の各代金を引いて余った金額を指し、2015年度では小学校の場合、241.18円/日/人の賄材料費のうち、147.70円になると手紙では示されている。

野田市教育委員会は2015年4月からの値上げ

を、2014年度の給食費の改定と同様に、改定された学校給食摂取基準を満たすためとしている。具体的には、給食で提供される「カルシウム源としての小魚等、旬の魚料理、旬の果物やナッツ類を用いたデザート」の量や回数を「現在よりも充実させる」という。また、食の安心・安全面の向上の観点から「地場産、国産の食材」の調達を可能な限り増やすこと、雑穀米入りの米飯を月に一回は行うとしている。上記、カルシウムに加え、鉄分の摂取基準を小学校高学年の児童に対して充足するためにも、140円/月の値上げ分が用いられるという。⁽¹³⁾

2013年1月には80円台後半だったドル・円の為替レートは、5月には100円を超え、その後94円から104円台の範囲内で推移して来たものの2014年9月後半からは110円を目指す円安方向に振れ、12月には120円前後で推移している。2014、15年のCPIが入手不可のため、実質の月額給食費は算出できないが、図3で表された名目の月額給食費の推移でも分かるように、この円安による穀物、食品、原油等の輸入価格の上昇が2014年と2015年（予定）の給食費改定（値上げ）の一因ではなかろうか。

6 給食に関するアンケート調査

2014年11月北部小学校の5、6年生175人を対象に「学校給食についてのアンケート調査」を行った。尚、今回のアンケートの調査項目は、2008年度に米子市で行われた学校給食アンケートを参考にして作成されている。以下が、その結果である。⁽¹⁴⁾

男子の（ ）は男子児童の回答数に占める割合（％）を、女子の（ ）は女子児童の回答数に占める割合を、合計の（ ）は全児童の回答するに占める割合を表している。

問1の朝食を摂ってくる回数であるが、月曜日から金曜日まで5日間、平均で175人中155人、約89%の児童が朝食を毎日食べてくるという結果が出た。男女別で見ると、今回のアンケート結果では男子の方が若干（約5%弱）女子を上回っ

ている。朝食を全く食べないで登校する児童はいなかったが、男子で6人、女子で11人が1回から2回、朝食を食べないで来ると答えている。3日間食べない児童は男女、それぞれ1人おり、女子では5回のうち、1回しか食べてこないと回答した児童もいた。食べてこない理由としては、男女合計では「おなかがすかない」が約半数を占めるが、男子が「食べている時間がない（41.7%）」と「おなかがすかない（41.7%）」と答えているのに対して、女子は「おなかがすかない」が62.5%、無回答を除くと71.4%という結果が出た（問2参照）。

次に、近年、子供の個食の問題と影響が取り上げられる機会が増えている中、問3に設問した。結果は、83人（47.7%）が「兄弟や家族といつも食べる」、51人（29.3%）人が「ときどき、一人で食べる」、「いつも一人で食べる」が40人（23.0%）となった。男女別では、女子の方が家族と食べる機会が多く、逆に男子の約30%が日常的に朝食は「個食」であり、女子の約17%よりも多い結果となった。全体としても23%が個食であるという結果は、核家族化で祖父母と同居しておらず、かつ共働きの両親が少なくない昨今の現象を表した結果ではないかと推測される。

山本由理他の「児童・生徒の朝食摂取状況と生活習慣の関連性について」の研究において、朝食を食べてくる小学生（児童）は家族全員（25.8%）もしくは家族の誰か（63.9%）と一緒に食べていると結果が出ている。一人で食べる と答えた児童は9.9%であった。逆に、朝食を食べてこない児童では、一人で食べるが32.7%いた。家族全員と食べるは13.9%、家族の誰かと食べるは49.5%に留まっている。⁽¹⁵⁾

問4に朝食時にテレビを見ながら食べているのか設問した。テレビを見ながら朝食を摂る児童が合計で86人と約50%近くおり、「ときどき見ながら食べる」も加えると、約80%の北部小学校の5、6年生の児童はテレビを見ながら食べているという結果が出た。テレビを見ないで食事する児童は、男子の方が23人（27.7%）で女子の12人（12.5%）の倍以上という結果となった。子供

学校給食についてのアンケート結果

問1 月曜日から金曜日までの5日間で、朝ごはんは何回くらい食べてきますか。みなさんが思い出す、だいたいの数でいいです。一つ選んで○で囲んでください。(土曜授業の日を除いて)

	男子	女子	合計
1. 5回（毎日、食べてくる）	72 (91.1%)	83 (86.5%)	155 (88.6%)
2. 4回くらい	2 (2.5%)	6 (6.3%)	8 (4.6%)
3. 3回くらい	4 (5.1%)	5 (5.2%)	9 (5.1%)
4. 2回くらい	1 (1.3%)	1 (1.0%)	2 (1.1%)
5. 1回くらい	0 (0%)	1 (1.0%)	1 (0.6%)
6. 0回（食べない）	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

問2 朝ごはんを食べないでくる時の理由（りゆう）を教えてください。いくつも当てはまる時は、みんな選んでもいいです。いつも食べてくる人は、答えないでください。

	男子	女子	合計
1. 食べている時間がない（朝早く起きられない）	5 (41.7%)	4 (25.0%)	9 (32.1%)
2. おなかがすかない	5 (41.7%)	10 (62.5%)	15 (53.6%)
3. おなかの具合（ぐあい）が悪い	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
4. 風邪（かぜ）などで食べる気がしない	2 (16.7%)	0 (0%)	2 (7.1%)
5. その他（理由をかいてください）	回答なし		
6. 無回答	0 (0%)	2 (12.5%)	2 (7.1%)

問3 朝ごはんは、どのように食べますか。

	男子	女子	合計
1. 兄弟（きょうだい）や家族（かぞく）といつも食べる	33 (41.8%)	50 (52.6%)	83 (47.7%)
2. ときどき、一人で食べる	22 (27.8%)	29 (30.5%)	51 (29.3%)
3. いつも一人で食べる	24 (30.4%)	16 (16.8%)	40 (23.0%)

問4 朝ごはんを食べるときに、テレビを見ながら食べますか。

	男子	女子	合計
1. 毎日見ながら食べる	36 (43.4%)	50 (52.1%)	86 (48.0%)
2. ときどき見ながら食べる	24 (28.9%)	34 (35.4%)	58 (32.4%)
3. テレビを見ながらは食べることはない	23 (27.7%)	12 (12.5%)	35 (19.5%)

問5 学校給食をどう思いますか

	男子	女子	合計
1. 好き	71 (89.9%)	84 (87.5%)	155 (88.6%)
2. 嫌い	1 (1.3%)	4 (4.2%)	5 (2.9%)
3. 分らない	7 (8.9%)	8 (8.3%)	15 (8.6%)

◎学校給食が「好き」と答えた人だけに聞きます。

問6 好きな理由に○をつけてください。当てはまるものは、いくつ選んでもいいです。

	男子	女子	合計
1. おいしいから	64 (32.3%)	67 (26.9%)	131 (29.3%)
2. みんなといっしょに食べられるから	36 (18.2%)	56 (22.5%)	92 (20.6%)
3. あったかいものが食べられるから	13 (6.6%)	19 (7.6%)	32 (7.2%)
4. 毎日ちがうものが食べられるから	31 (15.7%)	33 (13.3%)	64 (14.3%)
5. 家で食べないものが食べられるから	22 (11.1%)	26 (10.4%)	48 (10.7%)
6. 体にいいものが（バランスよく）食べられるから	32 (16.2%)	48 (19.3%)	80 (17.9%)
7. その他（理由をかいてください）：			

1名：勉強などでつかれた時、給食は幸せを感じる。

◎学校給食が「嫌い」と答えた人だけに聞きます。

問7 嫌いな理由に○をつけてください。当てはまるものは、いくつ選んでもいいです。

	男子	女子	合計
1. おいしくないから	1 (25.0%)	3 (50.0%)	4 (40.0%)
2. 家で食べないものが出てくるから	1 (25.0%)	2 (33.3%)	3 (30.0%)
3. みんなといっしょに食べるから	1 (25.0%)	0 (0%)	1 (10.0%)
4. 嫌いなものが出てくるから	1 (25.0%)	1 (16.7%)	2 (20.0%)
5. その他（理由をかいてください）			

回答なし

◎ ここからは、みんなに聞きます。

問8 学校給食の量と味について、聞きます。メニューによって違いがでると思いますが、おおよその考えで答えてください。

★量

ごはん：	男子	女子	合計
1. 多すぎる	9 (11.4%)	20 (20.8%)	29 (16.6%)
2. ちょうど良い	55 (69.6%)	75 (78.1%)	130 (74.3%)
3. 少なすぎる	15 (19.0%)	1 (1.0%)	16 (9.1%)

パン：	男子	女子	合計
1. 多すぎる	13 (16.5%)	24 (25.0%)	37 (21.1%)
2. ちょうど良い	52 (65.8%)	70 (78.1%)	122 (69.7%)
3. 少なすぎる	14 (17.7%)	2 (2.1%)	16 (9.1%)

おかず：	男子	女子	合計
1. 多すぎる	8 (10.1%)	5 (5.2%)	13 (7.4%)
2. ちょうど良い	50 (63.3%)	79 (82.3%)	129 (73.7%)
3. 少なすぎる	21 (26.6%)	12 (12.5%)	33 (18.9%)

★味付け

A :	男子	女子	合計
1. こい	3 (3.8%)	8 (8.3%)	11 (6.3%)
2. ちょうどよい	68 (85.0%)	86 (89.6%)	154 (87.5%)
3. うすい	6 (7.5%)	1 (1.0%)	7 (4.0%)
4. 無回答	3 (3.8%)	1 (1.0%)	4 (2.3%)

B :	男子	女子	合計
1. 油っぽい	10 (12.7%)	9 (9.4%)	19 (10.9%)
2. ちょうどよい	62 (78.5%)	77 (80.2%)	139 (79.4%)
3. さっぱりしすぎ	1 (1.3%)	2 (2.1%)	3 (1.7%)
4. 無回答	6 (7.6%)	8 (8.3%)	14 (8.0%)

★好きなメニューを2つ教えてください。(例：北小カレー)

Appendix 1 参照

★嫌いなメニューを2つ教えてください。

Appendix 2 参照

問9 給食を残すことがありますか。

	男子	女子	合計
1. 毎日たくさん残す	1 (1.3%)	2 (2.1%)	3 (1.7%)
2. 毎日すこし残す	3 (3.8%)	2 (2.1%)	5 (2.9%)
3. ときどき残す	16 (20.3%)	31 (32.3%)	47 (26.9%)
4. 残さない	58 (73.4%)	60 (62.5%)	118 (67.4%)
5. 無回答	1 (1.3%)	1 (1.0%)	2 (1.1%)

問10 1から3まで「残す」と答えた人に聞きます。残す理由に○をつけてください。当てはまるものは、いくつ選んでもいいです。

	男子	女子	合計
1. おいしくないから	0 (0%)	1 (1.9%)	1 (1.2%)
2. 嫌いなものがあるから	13 (39.4%)	17 (32.1%)	30 (34.9%)
3. 給食の時間が短いから	8 (24.2%)	9 (17.0%)	17 (19.8%)
4. 量が多すぎるから	4 (12.1%)	17 (32.1%)	21 (24.4%)
5. 食欲がないから	5 (15.2%)	5 (9.4%)	10 (11.6%)
6. 太りたくないから	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
7. 一度にたくさん食べられないから	0 (0%)	3 (5.7%)	3 (3.5%)
8. 体の具合(ぐあい)が悪いから	3 (9.1%)	1 (1.9%)	4 (4.7%)

その他(理由をかいてください)：

1名：委員会で時間がないから

問11 給食の「ごはん」と「パン」について、どれがよいと思いますか。

	男子	女子	合計
1. ごはんの出る日を増やしてほしい	32 (40.5%)	17 (17.7%)	49 (28.0%)
2. パンの出る日を増やしてほしい	14 (17.7%)	32 (33.3%)	46 (26.3%)
3. いまのままのごはんとパンの回数でいい	31 (39.2%)	45 (46.9%)	76 (43.4%)
4. 無回答	2 (2.5%)	2 (2.1%)	4 (2.3%)

問 12 給食のごはんの味をどう思いますか。

	男子	女子	合計
1. おいしい	59 (74.7%)	62 (64.6%)	121 (69.1%)
2. ふつう	18 (22.8%)	31 (32.3%)	49 (28.0%)
3. おいしくない	1 (1.3%)	2 (2.1%)	3 (1.7%)
4. 無回答	1 (1.3%)	1 (1.0%)	2 (1.1%)

問 13 給食のパンの味をどう思いますか。

	男子	女子	合計
1. おいしい	38 (48.1%)	62 (64.6%)	100 (57.1%)
2. ふつう	36 (45.6%)	31 (32.3%)	67 (38.3%)
3. おいしくない	4 (5.1%)	2 (2.1%)	6 (3.4%)
4. 無回答	1 (1.3%)	1 (1.0%)	2 (1.1%)

問 14 家の朝ごはんの主食は、ごはんと言パンとではどちらの日が多いですか。

	男子	女子	合計
1. ごはん	41 (51.9%)	34 (35.4%)	75 (42.9%)
2. パン	26 (32.9%)	35 (36.5%)	61 (34.9%)
3. 同じくらい	7 (8.9%)	19 (19.8%)	26 (14.9%)
4. その他（コーンフレーク、うどん、カップめんなど）	4 (5.1%)	6 (6.3%)	10 (5.7%)
5. 無回答	1 (1.3%)	2 (2.1%)	3 (1.7%)

問 15 地産地消（ちさんちしょう）の言葉を聞いたことがありますか。

	男子	女子	合計
1. ある	53 (67.1%)	57 (59.4%)	110 (62.9%)
2. ない	24 (30.4%)	37 (38.5%)	61 (34.9%)
3. 無回答	2 (2.5%)	2 (2.1%)	4 (2.3%)

問 16 地産地消とは「遠くから食べ物を運んで来るよりは、出来るだけ自分の住んでいる近く（地元：じもと）で取れた野菜やコメなどを食べましょう」という意味ですが、どう思いますか。

	男子	女子	合計
1. いいと思う	50 (63.3%)	70 (72.9%)	120 (68.6%)
2. わからない	12 (15.2%)	8 (8.3%)	20 (11.4%)
3.それほど気にしない	16 (20.3%)	16 (16.7%)	32 (18.3%)
4. 無回答	1 (1.3%)	2 (2.1%)	3 (1.7%)

問 17 学校給食に野田市内や野田市の近くで取れた野菜などを使うことをどう思います。

	男子	女子	合計
1. いいと思う	59 (74.7%)	78 (81.3%)	137 (78.3%)
2. わからない	6 (7.6%)	6 (6.3%)	12 (6.9%)
3.それほど気にしない	12 (15.2%)	10 (15.2%)	22 (12.6%)
4. 無回答	2 (2.5%)	2 (2.1%)	4 (2.3%)

問 18 学校給食について、思っていることを自由に書いてください。

Appendix 3 参照

の成長・発育にとってテレビの影響がどのようなかわりを持つのかについて、岡村佳代子他は「小学校高学年児童の生活リズムと朝食摂取との関連性」の研究で、朝食を食べる児童は食べない児童と比較して、ゲームをする時間やテレビ・ビデオの見る時間が短い児童の割合が高く、就寝と起床時間が決まっており、「起床時の空腹感がある」児童が統計的に有意に高かったと述べている。⁽¹⁶⁾ また、上記、山本由理他の研究においても、朝食を食べない児童ではテレビやビデオを見る時間が長く、就寝時間が遅いと言う結果が有意に出たとしている。⁽¹⁷⁾

食事中のテレビ視聴の影響に関しては、食事以外のことに集中していると、味覚が鈍って薄味に感じてしまうとの研究発表を掲載している HP もある。⁽¹⁸⁾ 日本小児科学会こどもの生活環境改善委員会は、テレビやビデオを長時間視聴している乳幼児では「言語発達や社会性の遅れ」が見られることを指摘している。また、テレビを4時間以上子供が見ている家庭では、子供が自由にテレビを食事中、それ以外にかかわらず見せているケースが多く、「消すと怒るなどテレビ好きで、遊びがテレビに偏り易い傾向がある」と指摘している。⁽¹⁹⁾ テレビやビデオを子育てに用いる、もしくは親がこれらを視聴しながら子育てをするケースにおいて、「子どもの言語や感性の発達を阻害する危険」を指摘している医療機関もある。⁽²⁰⁾ これらの研究結果を踏まえ、次回からのアンケート調査項目の作成では、1日にテレビ・ビデオ・ゲーム等に費やす時間を加えたい。

問5の「学校給食が好きか嫌いか」に關しての回答は、男女とも「好き」と答える児童が多く、155人(88.6%)が好きと答えた。好きな理由としては、男女とも、「おいしいから」、「みんなと一しょに食べられるから」が1位と2位を占め、次に「体にいいものが食べられるから」、「毎日ちがうものが食べられるから」と続く。自由記述では「勉強などでつかれた時、給食は幸せを感じる」というものもあった(問6参照)。

学校給食が嫌いだと答えた児童も5人、分からないとの回答も15人いた。嫌いだと答えた児童が理

由として選んだものは、「おいしくないから」と「家で食べないものが出るから」で70%を占めている。給食が好きと答えた児童の約10%が「家で食べないものが出るから」を好きな理由として挙げている点と比較すると興味深い。

問8で学校給食の量と味に関する設問を行った。まず、量に関しては、ごはん(米飯食)とパンとも「ちょうど良い」が、ごはんで130人(74.3%)、パンで122人(69.7%)と回答した。両者で異なる点は、ごはんに関しては男子の19%が「少なすぎる」と答えたのに対して、女子は1%、逆に約21%の女子が「多すぎる」と答え、男子は約11%に留まった点である。パンに関しても女子の4人に一人は、「多すぎる」と回答し、「少なすぎる」の約2%と大差がついている。男子では、「多すぎる」、「少なすぎる」とも、ほぼ17%近くで拮抗している。男子はごはんの量が少ないと感じ、女子は量が多いと感じている傾向が見える。女子に関しては、パンの量も多いと感じている傾向が見える。

おかずの量に関しても、「ちょうど良い」との回答が全体で129人(73.7%)を占めた。ごはんとパンの量に関する質問結果と比べると、おかずの量が「少なすぎる」と答えた児童が18.9%と2倍強いることである。炭水化物よりもおかずをもっと食べたいと考える児童が多いとの結果が、今回のアンケートでは出た。特に男子では女子と比較して倍以上(男子26.6%、女子12.5%)の児童がおかずの量が少なすぎると答えている。

味付けへの設問であるが、「こい」「うすい」、「油っぽい」「さっぱりしすぎ」とも、「ちょうどよい」を、それぞれ154人(87.5%)、139人(79.4%)の児童が選択した。学校給食法第8条第1項に基づき「学校給食実施基準」が設けられ、さらに学校給食摂取基準が決められている。⁽²¹⁾ 塩分基準も定められ(例:8~11歳の児童で塩分相当量の2.5グラム未満)、その範囲内で調理されている。今回のアンケート結果ではその基準内での味付けが多くの児童で受け入れられているという結果となった。

児童の好きな学校給食のメニュー、嫌いなメニ

ューをそれぞれ2つ書いてもらった（無回答の児童もあり）。北部小学校の5、6年生が好きと答えたメニューの第1は、「北小カレー」の124票で、第2位の「あげパン」の4倍強の支持を得ている。北部小学校のHPにある「こんだて表」によると、「人気の北小カレーは、たくさんのたまねぎをじっくり煮込みました」とある。⁽²²⁾3位ABCスープ（17票）、4位わかめごはん（15票）と続く（Appendix 1 参照）。

嫌いなメニューの第1位は「あげパン」の26票、第2位が「魚料理」の22票である。第3位「フルーツ」（14票）、第4位ABCスープ（13票）、同じく第4位レバー（の料理）（13票）という結果が出ている。あげパンは好き・嫌いがわかれており、嫌いな児童は「油っぽい」を理由に挙げている。アルファベットの形のマカロニ入りのABCスープも、同様に好みがわかれている（Appendix 2 参照）。

次に学校給食の食べ残しの実態に関して設問した。全体の67.4%、118人の児童が「残さない」と回答した。男子の方が女子よりも残さない（男子73.4%、女子62.5%）という結果が出た。「ときどき残す」児童が47人（26.9%）いたが、こちらは、上記のごはんやパンの量に関する設問でも回答されていたが、女子の方が男子を上回っている（男子20.3%、女子32.3%）。（問9参照）

残す理由では、「嫌いなものがあるから（34.9%）」、「量が多すぎるから（24.4%）」との回答が約6割を占めるが、「給食の時間が短いから」と答えた児童が17人（19.8%）いたことも注目される。給食を残す理由の自由記載では、「委員会で時間がないから」があった。給食の後、午後の授業は始まる前に児童の所属する委員会が開かれるということらしい（問10参照）。また、放送委員の場合、放送室に食事スペースがないため、教室で給食を早めに済ませて放送室に行き、給食時間の終わりを告げる仕事があるという。⁽²³⁾

2014年度から、野田市では、米飯給食が週3.5回、パン・麺給食が1.5回行われている。問11で児童の考えを聞いてみた。「いまのままのごはんとパンの回数でいい」を選択した児童が全体の

43.4%、76人いたが、次に「ごはんの出る日を増やしてほしい（49人28.0%）」と「パンの出る日を増やしてほしい（46人26.3%）」、それぞれ4人に一人がどちらかの日を増やしてほしいと回答している。男女別では、男子はごはんの日が増えるのを希望しており（40.5%）、女子はパンの日が増えるのを希望している（33.3%）ことが結果として出ている。

次にごはんとパンの味について、問12と問13で聞いた。ごはんの味に関しては、全体では121人（69.1%）の児童が「おいしい」と答えているが、男女間の差に注目すると、男子では「おいしい」が74.7%、「ふつう」が22.8%であるのに対して、女子では、それぞれ64.6%と32.3%と、男子に比べて「ふつう」と答えた児童が多かった。

パンの味では、「おいしい」と答えた児童が全体で100人（57.1%）であり、ごはんの味に比べて12%低い回答が得られた。男女間の比較では、女子の方が男子よりもパンをおいしいと回答した比率が多かった（男子48.1%、女子64.6%）。

問14は、家庭の朝食の主食について尋ねた。ごはんとパンの頻度については、全体では「ごはん」と答えた児童が75人（42.9%）で「パン」と答えた児童61人（34.9%）を上回った。男女別では、男子の約半数がごはんが朝食には頻度として多く出ているのに対して、女子では「ごはんが多い」と「パンが多い」がほぼ同数（35.4%と36.5%）で、「同じくらい」も19.8%あるという結果となった。

近年学校給食では特に話題となっている「地産地消」に関して、問15から問17まで尋ねた。約63%、110人の児童が地産地消の言葉を聞いたことがあるとの回答を得た。地産地消についての考え方を聞いた問16では、175人中、120人（68.6%）が地産地消の考え方に「いいと思う」と答えている。野田市内や野田市の近くで取れた野菜などを学校給食の食材として使うことについての設問に対しては、78.3%、137人が「いいと思う」と回答した。

最後に問18で学校給食についての児童の考えを自由に書いてもらった（Appendix 3 参照）。

「学校給食はおいしい」との記載が約 70 件、記載件数全体の半分以上を占めている。また、栄養のバランスが取れていて良いとの記載が 14 件あった。

児童からのメニューに関しての要望で目立ったのが、魚料理に関したものである。魚を使ったメニューが多すぎるとか、骨を抜いて食べやすくして欲しいなどの記述がある。地産地消の観点や学校給食における「食育」の一環として、「日本古来の食生活を見直そう」との考えに基づき、学校給食のメニューに魚料理を増やしている自治体も出てきているという。

厚生労働省の国民栄養調査でも国民一人当たり一日の魚介類の摂取量は年々減少傾向にあり、2012 年では魚介類が 70 グラムに対して、肉類は 88.9 グラムとなっている。⁽²⁴⁾ 地域差はあるものの、家庭で食べなれていない魚を使ったメニューに児童の反応が出ていると思う。魚の骨を取り除いた食材の使用は限られた給食費や人件費のなかで難しいとされている。

また、上記のように、給食時間が短いとの記載も 4 件あった。限られた時間の中でカリキュラムをこなしていかなければならない小学校教育ではあるが、検討課題であると考ええる。最後に、卵アレルギーを持つ男子児童とピーナッツアレルギーを持つ女子児童からは、それぞれたまご料理とナッツ類のある食べ物を減らしてほしいとの記述もあった。こちらも過去に学校給食の中に含まれていた食材によるアレルギーで命を落とした児童の例も、メディアで取り上げられており、注意しなければならない事項の一つである。

近年、アレルギー体質の児童の増加に鑑み、野田市でも、「野田市学校給食食物アレルギー対応マニュアル」を作成し、2014 年度から各学校に 2, 3 部配布している。また、給食センターで「アレルギー食の取り扱いについて」の配膳員の研修も行っている。⁽²⁵⁾

また、北部小学校では毎月、使用した食材の産地（さんま：北海道、豚肉：茨城、バナナ：フィリピン、米：野田産など）と放射性物質測定結果も「調理前食材検査」と「調理後 1 食検査」に別

けて、保護者へ紙面で報告している。⁽²⁶⁾

7 米子市との比較

今回の北部小学校の結果を米子市で行われた学校給食アンケート集計結果（2008 年度）と比較してみたい。米子市の場合は、小学生 5 年生 1,375 人を対象に行われた（以後、米子、野田とする）。

「学校給食が好き」の児童が米子 66.1%、野田 88.6%、理由として「おいしいから」米子 27.8%、野田 29.3%、「友達と食べられる」米子 24.2%、野田 20.6%、「栄養のバランスがよい」米子 19.8%、野田 17.9%、「毎日違うものが食べられる」米子 14.8%、野田 14.3%という結果である。北部小学校の場合、学校給食が好きな回答が米子市の児童に比べて約 22% 上回ったが、その理由と挙げられたものには両市間で差異はあまり見られないようである。嫌いな理由では、「嫌いなものが出てくる」が米子 1 位、野田 3 位、「量が多すぎる」米子 2 位、野田設問なし、「おいしくない」米子 3 位、野田 1 位であった。

「給食をほとんど残さない（米子市）」児童が 50.9%、「残さない（野田市）」児童が 67.4%、「ときどき残す」米子 31.5%、野田 26.9%、「毎日たくさん残す＋少し残す」米子 16.1%、野田 4.6%という結果となった。北部小学校の児童の方が（標本数は少ないが）、給食を残さず食べる児童が米子市の児童より上回っている。給食を残す理由として、米子では（1）嫌いなものがある（30.7%）、（2）給食の時間が短い（18.5%）、（3）量が多すぎる（17.6%）に対して、野田では（1）（34.9%）、（2）（19.8%）、（3）（24.4%）であった。両市の児童とも、嫌いなものがメニューにある場合は残すのが第一の理由であり、量が多すぎる理由、そして給食の時間が短いとする理由も 20% 弱存在する。⁽²⁷⁾

給食の「ごはんとパン」の頻度に関する質問では、「今のままでよい」米子 47.6%、野田 43.4%、「パンの出る日を増やしてほしい」米子 17.1%、野田 26.3%、「ごはんの出る日を増やしてほしい」米子 33.6%、野田 28.0%であった。⁽²⁸⁾ 両市とも「今

のままでよい」との回答が多いが、米子では、ごはんの回数を増やして欲しい児童がパンに比べて約2倍弱いたのに対して、野田ではごはん、パンともほぼ同じ割合であり、特に女子児童がパンをもっと給食で食べたいと回答している。

給食のごはんの味に関しては、「おいしい」米子 58.5%、野田 69.1%、パンの味では、「おいしい」米子 42.7%、野田 57.1%という結果が出ている。

8 終わりに

学校給食は日本の義務教育制度の中で幅広く浸透しており、国の将来を担う児童、生徒の成長に寄与してきた。給食のメニューも変化し続けている。牛乳を例にとっても、1960年代の脱脂粉乳を自校式の調理室で溶かして提供していたものが、ビン容器、そして現在パックで提供するケースが7割を超えている。

核家族化、共働きの増加、食に関する技術変化（冷凍食品、レトルト食品の増加）、外食や中食の増加など、様々な環境の変化の中で児童の食事も変化してきた。児童の欠食や個食、そして偏った食事による生活習慣病の増加などを懸念する声もある。

このような状況下において、日本の給食制度は児童の成長期に必要な栄養素をバランスよく提供していると考えられる。食生活が多様化する中、食育推進基本計画（2006年食育推進会議にて決定）は、児童への食育のため栄養教諭の配置を各都道府県に求めている。言うまでもなく、この時期、児童・生徒が正しい食への知識を得ることは望ましい。しかし、限られた授業時間、定められたカリキュラムの中で、実際にどのように行われているのか、その内容や使用する時間帯、その効果などの調査は、今後の研究課題としたい。

著者の時代と比較し、現在の学校給食は多くのメニューが限られた給食費の中で提供されている。小学校のHPで、写真入りでメニューを掲載しているところも多い。学校給食協会のHPでレシピも公開しているところもある。今回のアンケ

ート調査の結果からも、多くの児童が学校給食をおいしいと思い、楽しみにしていることが分かった。児童の食材の好き嫌いの個人差もあり、好きなメニュー、嫌いなメニューも意見が分かれた。魚（料理）を苦手とする児童が目立った。栄養のバランスを考えたメニュー作りの中での提供であり、いろいろ工夫して提供されていると考えるが、食べ残しが気になる。自治体の中には、食べ残しを堆肥化しているところもあるが、本来、1食当たりで決められた摂取カロリーや栄養素は完食を前提に作られていると思う。個人差がある食において、100%の解決はない問題である。

「給食の時間が短くて残す」と17人の児童が回答した。また、自由記載で「委員会で時間がないから」が一人いた。北部小学校の場合、12時20分から給食の配膳が始まり、食事を始める。12時55分に「歯みがきタイム」になり、13時5分に給食の時間は終了する。その後、13時25分までは昼休み、13時30分から50分までが「掃除の時間」、13時55分から午後の授業が始まる。配膳と後片付けの時間を除くと、児童が食事に使える時間は家での食事と比較して限られていると推測される。早食いしなければ完食できないという環境があるのであれば、食育の推進と矛盾する。次回はこの点に関しても調査を行いたい。

野田市では、上記の野田産米の学校給食への利用のほか、学校給食用に業者に野田産を指定しての枝豆の購入や市内の農家から野菜の購入も行っている。この地産地消についても詳細を調べたい。

学校給食の提供に限らず、大規模な宅地開発等により児童数が急激に変化する地域において、学校施設がその増加に対応しきれない状況下、定められた基準に則り学校教育を維持しなければならないことの難しさを、わずかではあるが、今回の調査を通して知ることが出来た。

今回のアンケート調査では、好きな食材と嫌いな食材をそれぞれ3つ書いてもらった。しかし、その結果は調査をまとめる時間的制約と紙面の都合上、今回は割愛した。これらのデータも含めた全てのデータを用いた「クロス集計」を行い、例えば、給食を残す児童、好きな食材・嫌いな食材

との関係、また個食、テレビを見ながら食事する児童と学校給食に対する意見などの関係を今後明らかにしたい。さらに教諭や父兄に対する学校給食に関するアンケート調査も行ってみたい。

謝辞

アンケート調査に御協力いただいた北部小学校の清次校長、タイトなスケジュールの中でアンケートの時間を作って頂いた5、6年生担当の先生方、回答してくれた児童の皆様に深く感謝いたします。また、野田市教育委員会学校教育課の草刈課長様と大杉様からは、お忙しい中、貴重なデータを提供して頂きました。御礼を申し上げます。

《注》

- (1) 「学校給食歴史館」, 財団法人 埼玉県学校給食会のHP, 「学校給食の歴史」, 全国学校給食連合会のHP, 「学校給食の歴史」, 財団法人 福岡県学校給食会のHP。
- (2) 「昭和29年法律第160号学校給食」, 法なび 法令検索のHP, リーガルメディア株式会社。
- (3) 野田市役所, 『野田市教育史略』, 昭和50年, PP.193-194。
- (4) 「学校沿革」, 野田市立南部小学校のHP。
- (5) 同上。
- (6) 野田市教育委員会学校教育課の配布資料。
- (7) 野田市教育委員会, 『平成24年度 野田市教育要覧』, 『平成25年度 野田市教育要覧』, 野田市教育委員会学校教育課の電話インタビュー。1985年度では、米飯は2回、パンが3回実施されていた。
- (8) 野田市民生経済部農政課, 「野田市の農業〔現状と課題〕」, 平成24年12月, P.14, 野田市教育委員会, 『平成25年度 野田市教育要覧』, P.41。
- (9) 野田市教育委員会学校教育課の電話インタビュー。
- (10) 野田市立北部小学校 建設促進協議会, 『創立百年記念誌 野田市立北部小学校』, 昭和50年2月, PP.32-53, 野田市立北部小学校, 『創立140周年記念誌 くすの木 野田市立北部小学校』, 平成25年11月, PP.47-48。
- (11) 北部小学校への聞き取り調査。
- (12) 2014年7月に行った著者による各小学校への聞き取り調査の結果, 2014年7月現在, 児童数100人当たり北部小学校のトイレ数を近隣の小学校と比較すると北部小学校(7.5), 岩木小学校(21.5), 七光台小学校(26.9)と、約4割以下であることが分かる。北部小学校の場合は、体育館脇にある汲み取り式の外トイレ6個も含めた数字である。
- (13) 野田市教育委員会, 「学校給食費の改定について(お知らせ)」, 平成26年12月5日。
- (14) この他にも, 「好きな食材」, 「嫌いな食材」についてもアンケートを実施したが, 紙面の都合上, 割愛した。
- (15) 山本由理, 三宅敦子, 森恵子, 「児童・生徒の朝食摂取状況と生活習慣の関連性について」, 中国学紀要 第9号, 2010年6月, PP.1-8。
- (16) 岡村佳代子, 草川恵子, 中田紋子, 若野暢代, 福本純子, 奥田豊子, 「小学校高学年児童の生活リズムと朝食摂取との関連性」, 大阪大学紀要 第52巻 第2

- 号, 2009年2月, PP.37-39。
- (17) 「児童・生徒の朝食摂取状況と生活習慣の関連性について」, PP.1-8
- (18) 「テレビを見ながらの食事が及ぼす悪影響とは?」, パビマミのHP。
- (19) 日本小児科学会こどもの生活環境改善委員会, 「幼児のテレビ・ビデオ長時間視聴は危険です」, 日本小児科学会, 2004年。
- (20) 「テレビ・ビデオ・ゲームの影響を考えよう」, 独立行政法人国立病院機構 仙台医療センターのHP。
- (21) 学校給食法(昭和29年6月3日法律第160号), 文部科学省のHP。
- (22) 「野田市立北部小学校 2014年4月13日の献立表」, 野田市立北部小学校のHP。
- (23) 北部小学校への聞き取り調査。
- (24) 厚生労働省, 『平成24年国民健康・栄養調査報告』。
- (25) 野田業務サービス株式会社, 『平成25年度(第12期)事業報告書』, P.6。
- (26) 野田市立北部小学校, 「12月 ランチタイムズ 食育だより」, 平成26年12月2日。
- (27) 米子市でのアンケート項目は「時間がない」となっているが, 本稿のアンケート項目で使用した「給食の時間が短いから」と同等の扱いをした。
- (28) 米子市では, 米飯給食が週に3回, パンが2回提供されるのに対して, 野田市では2014年度から米飯が週3.5回, パン・麺が1.5回提供されている。「平成23年度の学校給食費について」, 米子市のHP。

参考文献

1. 海老名市教育委員会, 「学校給食に関するアンケート調査の結果」, 平成18年6月実施。
2. 岡村佳代子, 草川恵子, 中田紋子, 若野暢代, 福本純子, 奥田豊子, 「小学校高学年児童の生活リズムと朝食摂取との関連性」, 大阪大学紀要 第52巻 第2号, 2009年2月。
3. 「学校沿革」, 野田市立南部小学校のHP。
4. 「学校給食の歴史」, 財団法人 福岡県学校給食会のHP。
5. 「学校給食の歴史」, 全国学校給食連合会のHP。
6. 「学校給食法(昭和29年6月3日法律第160号)」, 文部科学省のHP。
7. 「学校給食歴史館」, 財団法人 埼玉県学校給食会のHP。
8. 鹿屋市立南部学校給食センター, 「学校給食アンケート調査 結果報告書」, 平成24年9月。
9. 厚生労働省, 『平成24年国民健康・栄養調査報告』。
10. 土別市学校給食センター, 「学校給食アンケート結果」, 平成24年度。
11. 「昭和29年法律第160号学校給食」, 法なび 法令検索のHP, リーガルメディア株式会社。
12. 「テレビ・ビデオ・ゲームの影響を考えよう」, 独立行政法人国立病院機構仙台医療センターのHP。
13. 「テレビを見ながらの食事が及ぼす悪影響とは?」, パビマミのHP。
14. 日本小児科学会こどもの生活環境改善委員会, 「幼児のテレビ・ビデオ長時間視聴は危険です」, 日本小児科学会, 2004年。
15. 野田業務サービス株式会社, 『平成25年度(第12期)

事業報告書』。

16. 野田市教育委員会, 「学校給食費の改定について (お知らせ)」, 平成 26 年 12 月 5 日。
17. 野田市教育委員会, 『平成 24 年度 野田市教育要覧』。
18. 野田市教育委員会, 『平成 25 年度 野田市教育要覧』。
19. 野田市教育委員会学校教育部学校教育課の配布資料。
20. 野田市立北部小学校, 「12 月 ランチタイムズ 食育だより」, 平成 26 年 12 月 2 日。
21. 野田市民生経済部農政課, 「野田市の農業 [現状と課題]」, 平成 24 年 12 月。
22. 野田市立北部小学校, 『創立 140 周年記念誌 くすの木 野田市立北部小学校』, 平成 25 年 11 月。
23. 「野田市立北部小学校 2014 年 4 月 13 日の献立表」, 野田市立北部小学校の HP。
24. 野田市立北部小学校 建設促進協議会, 『創立百年記念誌 野田市立北部小学校』, 昭和 50 年 2 月。
25. 野田市役所, 『野田市教育史略』, 昭和 50 年。
26. 山本由理, 三宅敦子, 森恵子, 「児童・生徒の朝食摂取状況と生活習慣の関連性について」, 中国学園紀要第 9 号, 2010 年 6 月。
27. 米子市教育委員会学校給食課, 「学校給食アンケート集計結果」, 平成 20 年。

Appendix 1 好きなメニュー

北小カレー	124
あげパン	30
ABC スープ	17
わかめごはん	15
らーめん	13
フルーツポンチ	10
ゼリー	9
サラダ的なもの	8
シチュー	7
ピーマンの肉詰め	5
うどん	5
とんじる	4
キーマカレー	4
こめこのケーキ	4
からあげ	4
カレーうどん	3
フルーツ	3
スパゲッティ	3
セレクト給食	3
はらじゅくドック	3
手作りハムカツ	3
チャーハン	3
えだまめコロッケ	2
ごぼうスティック	2
あさりのクラムチャウダー	2
さんまごはん	2
たきこみごはん	2
グラタン	2
勝浦タンタンメン	2
さばのみそに	2
マーブルパン	2
味噌汁	2
麦ごはん	2
野菜の胡麻和え	2
チョコケーキ	1

レバーの料理	1
イカフライ	1
ヨーグルト	1
おかゆ系のもの	1
サケのバターしょうゆ	1
クッパ	1
キムチチャーハン	1
フィッシュバーガー	1
ほうれん草のピーナッツ和え	1
しゅうまい	1
こふきいも	1
せんべい汁	1
キムチスープ	1
ごはん	1
バーガーパン	1
本格派お豆とチキンのカレー	1
ジャーマンポテト	1
フルーツ白玉	1
リング	1
焼き豚チャーハン	1
手巻き寿司	1
ぼてと	1
スタミナ納豆丼	1
ポトフ	1
ほうれん草のナムル	1
わかめうどん	1
ジャガイモのスープ	1
給食室の手作りのもの	1
餃子	1
ハンバーグ	1
さつまいもごはん	1
焼きそば	1
コッペパン	1
いそかあえ	1
パンケーキ	1

Appendix 2 嫌いなメニュー

あげぱん	26
魚料理	22
フルーツ	14
ABCスープ	13
レバー	13
ピーマンの肉詰め	12
サラダ	12
キノコ汁	10
ゴーヤチャンプルー	8
ゼリー	8
ミニトマト	6
そらまめ	5
はくさいとあさりのクラムチャウダー	5
うめぼし	5
なっとう	4
ごぼうスティック	4
北小カレー	4
ひじきのナムル	4
野菜の胡麻和え	3
コッペパン	3
コーンスープ	2
カキ	2
アサリスープ	2
トースト(パン)	2
キムチ	2
バーガーパン	2
ゆかりごはん	2
うどん	2
こんにゃくの入った野菜	1
とうもろこし	1
ヨーグルト	1
コーン	1
和風キノコスパゲッティ	1
フルーツポンチ	1
かきあげ	1
シチュー	1
グラタン	1
サイコロスープ	1

牛乳	1
チーズ	1
トマトとなすのスパゲッティ	1
こめこのケーキ	1
青菜のハンバーグ	1
炒め物	1
野菜のナムル	1
エビピラフ	1
イタリア風オムレツ	1
ほうれん草のナムル	1
エビと野菜のあえ	1
ばんかん	1
焼きそば	1
モズクのスープ	1
ごはん	1
とうがんスープ	1
麻婆豆腐	1
お好み焼き	1
グリーンピースごはん	1
中華風料理	1
ピーマンのハンバーグ	1
カップケーキ	1
おでん	1
竹輪の天ぷら	1
生姜焼き	1
梅干しごはん	1
スタミナ納豆丼	1
焼きおにぎり	1
チキン	1
かぼちゃ料理	1
青梗菜が入っているもの	1
きのこ・もやしができるもの	1
卵料理	1
けんちん汁	1
ジャム	1
あさりと白菜のスープ	1
キムチスープ	1

Appendix 3 学校給食についての意見

● 5年1組 男の子

- ・バランスがよくておいしいのが良いと思う。野菜などをおいしく料理してくれるのがいいと思う。
- ・給食の種類をもっと増やした方がいいと思います。
- ・お米などがあるときはおいしいが、洋食のパンより和食のごはんのほうがいいです。
- ・時間が短いです。毎日主食、副菜、主菜、フルーツ、乳製品、汁物を出してほしい。
- ・学校給食はおいしい。そして、ごはんの量が少し多いです。
- ・おいしいと思う。
- ・おいしいのでこれからもおいしい給食を出してください。
- ・給食のレパートリーを5個ぐらい増やしてほしい。
- ・おいしい。
- ・少しだけ量を増やしてほしい。
- ・毎日バランスよく出てきているのでいいと思います。毎日の給食うまいです。梅干しは絶対にださないで!!
- ・うますぎる。栄養満点。どうしてこんなにおいしい給食が出るのか見てみたい。
- ・なるべく魚をへらしてください。魚の目をとってください。
- ・すごくうまい
- ・いつもおいしい給食を作っていただきありがとうございます。

● 5年1組 女の子

- ・いつも色とりどりで栄養のバランスがいいと思います。
- ・めっちゃウマイ
- ・給食はおいしいと思う。
- ・バランスよく食べれていい。量が多いときがある。梅干しはださないで。
- ・基本てきに、全部おいしいので別に文句はあり

ません。食材がその野菜自身のうま味やおいしさがつまっているのがおいしい。

- ・学校給食はとてもおいしいです。でも、ご飯の量がとても多いです。毎日デザートというか、フルーツやゼリーを出してほしいです。
- ・おいしいのでこれからも私たちにをつくってください。
- ・給食があるからお弁当を持ってこなくていいし、種類もあっておいしいと思います。
- ・毎日フルーツをだしてほしい。
- ・バランスも考えてあってとてもいいしおいしいです。でもたまに夜ご飯とかぶったりします。
- ・めん類にパンの組み合わせはやめてほしい。
- ・別にそれ以上もそれ以下も望んではないので、今のままふつうおいしい給食を出してほしいと思います。
- ・みんなと一緒に食べると楽しいし、家よりも学校の方が楽しく感じる。もう少し量を減らしてほしい。いろんなものが出てくるのでいいと思う。
- ・ちょっと主食が多いです。(パンとパスタなど)
- ・ほんの少しだけ多いと思います。バランスのいい食事だと思います。梅干しだけは絶対に出不さいでほしいです。これからも今までの給食でいいです。

● 5年2組 男の子

- ・毎日給食ありがとうございます。とてもおいしい給食を楽しみにしています。
- ・いつもおいしい給食ありがとうございます。栄養もたくさんあり、とてもバリエーションにとんだ給食を毎日食べられることにとても給食室の方に感謝しています。これからもおいしい給食よろしくお願いします。
- ・いつもおいしいです。
- ・ぼくは、たまごアレルギーなのでたまごを使った料理をへらしてほしいです。いつもありがとうございます。
- ・いつもありがとうございます。

- ・いつもありがとうございます。いつもおいしいです。給食の量をもっと増やしてください。
- ・なし
- ・おいしい給食をいつもありがとうございます。
- ・いつもおいしい給食を出してくださってありがとうございます。
- ・ものすごくおいしいです。これからもよろしくお願いします。
- ・いつもありがとうございます。いつも給食おいしいです。
- ・おいしい学校給食をいつも食べられてとてもうれしです。
- ・めっちゃーおいしい。いつも給食ありがとうございます。
- ・いつもおいしい給食ありがとうございます。いつも残さず食べています。
- ・どうやって作っているのかがふしぎ。給食室に入ってみたい。いつもめちゃうちやおいしい。
- ・いつもおいしい給食ありがとうございます。
- ・いつもありがとうございます。いつも給食はおいしいです。これからもよろしくおねがいします。
- ・いつもありがとうございます。すっごーーーくおいしいです！これからもおいしい給食作ってください。
- ・いつも給食を作ってくださりありがとうございます。意見はあまりありませんが、パンや納豆を増やしてくれるとうれしです。おいしい給食をありがとうございます。
- ・めっちゃおいしいです。いつも感謝しています。毎日おいしい給食ありがとうございます。
- ・いつもおいしい給食ありがとうございます。

●5年2組 女の子

- ・いつもおいしい給食ありがとうございます。おいしい給食のおかげでだんだん嫌いなものなくなってきました。ありがとうございます。
- ・いつもありがとうございます。とてもおいしいです。
- ・いつもおいしい給食ありがとうございます。これからおいしい給食を作ってください。
- ・いつもおいしい給食をありがとうございます！！
- ・ときどきセレクト給食をだしてくださりありがとうございます。そのおかげでとっても給食がおいしくなってきたと思います。
- ・いつもおいしい給食をありがとうございます。
- ・いつもおいしい給食をありがとうございます
- ・いつもおいしい給食を作ってくださりありがとうございます。これからもこのおいしい給食でお願いします。
- ・いつもおいしい給食ありがとうございます。給食おいしいです ^ ■ ^
- ・いつもおいしい給食をありがとうございます。これからもおいしい給食を作ってください。
- ・いつもおいしい給食ありがとうございます。パンが出る回数を増やしてほしいです。

●5年3組 男の子

- ・おいしくて、味もちょうどよい。
- ・苦手なものがあっても普通に食べれる。
- ・とてもおいしい！たくさんの食べ物を使っている。
- ・ごくごくたまに、すごく味がしょっぱいときがあった。
- ・いつもおいしいものを作ってくださりありがとうございます。
- ・おいしい。毎日、いろいろちがうメニューがでていい。

●5年3組 女の子

- ・北小の給食はおいしいのでこれからもおいしい給食が食べたいです。
- ・おいしくて毎日（一週間）食べられるのでうれしいです。
- ・学校給食はめずらしいものやおいしい物がたくさんあるのでいいと思う。
- ・いつも惜しい食べ物がでて、栄養がたくさんあるからいいと思う。
- ・学校給食は嫌いなものがあるけどおいしいです！
- ・バランスが考えて作られているから良いと思

ます。

- ・家では出ないメニューもあっていいと思います。
- ・給食はおいしいので、いいと思います。
- ・おいしいしバランスがいいし、何より好き嫌いなくおいしく食べれるところがいいと思います。

● 6-1 男の子

- ・栄養はあるけどふつう。
- ・味つけをもう少し考えてほしい。
- ・毎回バランスのとれたおいしい給食でいいと思います。
- ・北小の給食は、給食室で作っているから無添加でおいしいと思う。
- ・普通においしい。
- ・すごくおいしいので、ずっとおいしい給食をつくってもらいたい。
- ・みんなで食べることができて楽しいが、味がうすい日が多いし、マヨネーズを魚につけすぎていた。班ではなく列（かわ）で食べたい。
- ・最近（11月ごろ）魚が多い。おいしいけど食べあきた気がする。豚汁の具とみその濃さがちょうどいい。ひじきおいしい。デザートありがとうございます。

● 6-1 女の子

- ・「ごはん」「牛乳」という組み合わせが合わないの、「麦茶」「水」などごはんに合う飲み物を出してほしい。
- ・高学年になってから給食の量が多くなって、とても食べるのに大変になりました。
- ・毎日ちがう食べ物が出るから、色々な食べ物が食べられる。
- ・これからおいしい給食をたくさん作ってください。もっとメニューを増やしてほしい。ふだん食べないようなメニューをだしてほしい。
- ・いつもおいしい給食を作ってくれてありがとうございます。
- ・時々、とても味が濃いとことがあります。北小カ

レーはおいしいのですが、もう少し辛くしてほしいです。甘いです。

- ・毎日とてもおいしく、栄養を考えて作ってくれた給食がとてもおいしい。
- ・いつもおいしいし、家では食べられない料理もあるのでいいです。また、友達とかと話したりしながら食べられるので楽しいです。
- ・春雨サラダを出してほしい。
- ・あたたかくておいしい給食が好きなので、これからはもっとメニューを増やしてほしい。
- ・おいしいです。
- ・栄養バランスがあっていいと思う。
- ・嫌いな食べ物をあまり出さないでほしい。カロリーを増やさなくてほしい（1人分）。
- ・毎日食べている給食は、家では出ない食べ物もあるからとてもおいしい。
- ・みんなの好きな給食を増やしてほしい。デザートのレパートリーが少ないから増やしてほしい。野菜をもっと出してください。
- ・私はピーナッツアレルギーだから、もう少しナッツのある食べ物を減らしてほしいと思います。

● 6-2 男の子

- ・魚はできるだけ、食べやすく骨をのぞいておいでほしい。
- ・ピーマンの肉詰めの出す量を増やしてほしい。
- ・いつもみんなで楽しく食べられるし、おいしいし、栄養が傾くことがなくて安全だから、安心して食べられる。
- ・すごくおいしくて栄養バランスも良くて完璧の給食だと思う。
- ・おかずの組み合わせが良くない。
- ・バランス良く、おいしい給食はとてもいいです。
- ・学校の給食はおいしいです。
- ・学校給食で、6年生では「あげぱん」が嫌いな人が多く、その多くは「油っぽい」などだから、ちょっと油を減らしてほしい。
- ・とてもおいしいので、このままおいしいと良いと思います。

● 6-2 女の子

- ・色々なメニューが出てきて良いと思う。
- ・好きな食べ物がいっぱい出てくるからおいしい。
- ・ごはんとパンの量もとてもちょうど良くて、おいしいし、色んな給食も食べられる。家で食べられない物も食べられるから良い。
- ・みんなと食べられて楽しい。給食の時間を増やしてほしい。
- ・いつも給食がおいしい。
- ・新メニューを出してほしい。
- ・サラダにリンゴやみかんを入れるなど、変な組み合わせがあったりして嫌です。家で出るような、一般的な料理を出してほしいです。
- ・魚料理が多い。まずい。
- ・この頃、魚が多い。
- ・給食はおいしいと思うけど、少し量が多いと思います。
- ・おいしいと思うが、量が多いとあまりおいしいと感じないから量を少なくしてほしい。
- ・量が多すぎだと思う。
- ・給食はみんなと食べられて、とても元気が出ます。とてもおいしいし、給食の時間がとても楽

しいです。

- ・バランス良くできていから良いと思います。

● 6-3 男の子

- ・おいしいです。
- ・少し量が少ないから多くしてほしい。
- ・給食の時間が短い。
- ・給食の量を多くしてほしい。少し辛めの食べ物も入れてほしい。
- ・おいしい。

● 6-3 女の子

- ・とてもおいしくて良い。
- ・給食の時間が短いです。
- ・ちょうど良い量なので食べやすい。
- ・給食はおいしいと思う。
- ・量が多いときがあるので、もう少し少なくしてほしい。
- ・少し量が多いから少なくしてほしい。
- ・感謝。
- ・ちょうどいい量で、良いと思います。